

2014, 5, 6 NO, 656

# 日本共产党 磯城郡議員団だより

芝 和也 Eメール info@k-shiba.jp  
川西町結崎862-7 0745-43-2415  
吉田 容工Eメールkatunori\_yosida@ybb.ne.jp  
田原本町大木113-5 090-5257-4446  
森 良子 Eメール qfndg008@ybb.ne.jp  
田原本町鍵281-1 0744-33-8570  
(事務局) 池田年夫Eメールuvkk87386@zeus.eonet.ne.jp  
三宅町屏風440-5 0745-43-2661

政府が公布した改定生活保護法の厚生労働省令（4月18日）。当初案は、国会で「これまでと変わらない」と繰り返してきた答弁にも反する内容でしたが、同省は運動や国会論戦に押されて大幅修正しました。その中身を改めてみてみると、運動・論戦で大幅に修正された生活保護はこれまで口頭でも申請が認められており、田村憲久厚労相は「運用は変わらない」と繰り返し言明していました。

ところが省令案では、生活保護の申請を身体上の障害で字が書けないなど「特別な事情」に限定したり、申請時に書類提出を求める表現になつており、申請が締め出される危険性がありました。

その上で志位氏は「集団的自衛権の行使容認の狙いを『海外での武力行使をできない』という“歯止め”を外すということだ」と指摘。この“歯止め”を外せば（1）集団的自衛権によつて米軍とともにに戦場まで行つて戦闘活動を行う（2）多国籍軍への参加が無制限に行われる――という二つのことが天下御免になると述べました。

志位氏は「海外で戦争する国になつてしまふと、いうことが本質です。私たちは断固反対の論陣をはつていきたい」と語りました。

# 大企業ほど法人税負担軽

資本金が大きい大企業ほど法人税（国税）の負担割合が軽くなっていることが、国税庁の資料で分かりました。日本共産党の佐々木憲昭衆院議員の求めに応じて、国税庁が2012年度実績に基づいて試算した資料です。

法人税額の申告所得金額に対する割合を資本金ごとに分類して試算しました。

資本金100億円以上の企業では法人税の負担割合は22・6%は27・0%です。ここをピークにして、資本金が大きくなると、負担割合がかえつて下がります。資本金100億円を超える大企業では、19・6%と最も低くなっています。各企業の決算を合算することができる連結納税グループ企業にいたっては、13・3%とピークの半分以下ですんでいます。12年度に法人税率が引き下げられたのに伴い、同年度に限り、決算期の違いによつて、法定税率が30・0%の企業と25・5%の企業が交じつています。

大企業ほど負担割合が低くなるのは、大企業を優遇する減税制度があるからです。例えば、研究開発減税によつて12年度は、26・5・1億円の減税が行われました。その81%にあたる2138億円が、資本金10億円以上の大企業への適用です。

また、外国子会社から受ける配当などの額の95%を非課税とする海外子会社配当益金不算入の合計額は、3兆4765億円にのぼり

大企業の法人税率はすでに十分低く、これ以上下げなければならぬ理由などないのが国の試算からもはつきりしました。

4月から消費税が8%に引き上げられ、国民は負担増に苦しんでいます。しかも来年10月には10%への引き上げを狙い、さらに引き上げようという議論もあります。このようなときに、法人税だけは下げようというのは断じて許すことはできません。

日本共産党の志位和夫委員長は1日、安倍晋三首相の私的諮問機関「安全保障の法的基盤の再構築に関する懇談会」（安保法制懇）が集団的自衛権を「必要最小限の自衛権に含まれないのは適切ではない」とする方針を固めたとの報道についての見解を問われ、「『必要最小限度』と、あたかも制限が加わるかのような装いをこらしているが、実際は無制限になる」と批判しました。東京都内のメーデー会場で記者団の質問に答えました。

志位氏は、安保法制懇で“日本の安全

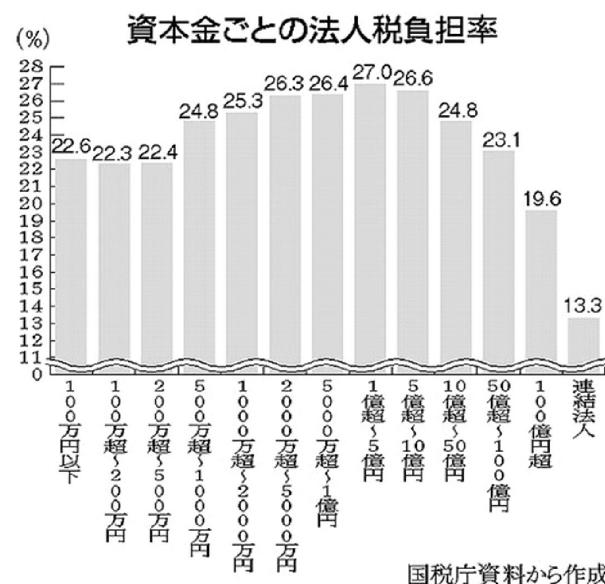
改定生活保護省令  
口頭申請は変わらず  
扶養義務強化も限定

安倍晋三首相は1月にスイスのダボスで開かれた世界経済フォーラム年次会議（ダボス会議）で、「法人税改革に着手」することを宣言。政府の経済財政諮問会議や税制調査会などで、さらなる法人税率引き下げを具体化するための議論が行われています。

佐々木憲昭衆院議員の話

省令では、（1）費用徴収を行う蓋然性が高い（2）DV被害を受けていない（3）自立に重大な支障を及ぼす恐れがない――のすべてを満たす極めて限定的な場合に限って行うことが明確にされました。

2014年5月3日（土）



省令では、「特別の事情」を削除。これまで通り、口頭の申請も認められることが明確になりました。

